

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第163期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	北陸瓦斯株式会社
【英訳名】	HOKURIKU GAS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 敦井 榮一
【本店の所在の場所】	新潟市中央区東大通一丁目2番23号 北陸ビル内
【電話番号】	025(245)2211(代表)
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 上村 健介
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区東大通一丁目2番23号 北陸ビル内
【電話番号】	025(245)2211(代表)
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 上村 健介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第162期 第3四半期連結 累計期間	第163期 第3四半期連結 累計期間	第162期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	32,525,100	33,561,721	48,947,116
経常利益(千円)	338,585	495,162	2,450,180
四半期(当期)純利益(千円)	172,745	244,484	1,470,982
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	189,247	425,026	1,824,371
純資産額(千円)	41,186,727	42,800,231	42,821,934
総資産額(千円)	56,397,631	56,929,852	58,405,244
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3.60	5.10	30.68
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	69.0	70.9	69.3

回次	第162期 第3四半期連結 会計期間	第163期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	3.80	3.99

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社、当社の子会社及び関連会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月～12月）の売上高につきましては、前年に比べて夏場の気温が低めに推移したことによる冷房用需要の減少や、冬場に入って気温が高めに推移したことによる給湯・暖房用需要の減少によりガス販売量が前年を下回ったものの、原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整があったことなどから、前年同期に比べ10億36百万円増加の335億61百万円となりました。

一方、営業費用につきましては、LNG価格の上昇により原料費が増加したことから、年金資産の数理差異等退職給付費用などの減少があったものの、前年同期に比べ8億96百万円増加の332億50百万円となりました。

この結果、前年同期に比べ営業利益は1億39百万円増加の3億11百万円、経常利益は1億56百万円増加の4億95百万円、四半期純利益は71百万円増加の2億44百万円となりました。

なお、当社グループの連結業績は、季節的変動の著しいガス事業の占めるウェイトが高いため、ガスの需要期である冬期を中心に春先にかけて、売上及び利益が多く計上されます。

セグメントの業績は次のとおりであります。

下記のセグメント別売上高及びセグメント利益又はセグメント損失には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<都市ガス>

ガス販売量は前年同期に比べ1.4%減の245,107千m³となりました。用途別では、家庭用ガス販売量は冬場に入って気温が高めに推移したことによる給湯・暖房用需要の減少により前年同期に比べ1.5%減の103,158千m³、業務用（商業用、工業用、その他用）ガス販売量については夏場の気温が低めに推移したことによる冷房用需要の減少及び冬場に入ってから暖房用需要の減少により、前年同期に比べ1.4%減の141,949千m³となりました。

都市ガス事業（付随する受注工事及び器具販売を含む）の売上高は、原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整があったことなどにより、前年同期に比べ11億65百万円増加の303億27百万円、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失1億20百万円）となりました。

<その他>

その他の事業の売上高は前年同期に比べ8百万円減少の59億88百万円、セグメント利益は23百万円増加の2億95百万円となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

特記事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,000,000
計	96,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	48,000,000	48,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株であります。
計	48,000,000	48,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	48,000	-	2,400,000	-	21,043

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 50,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,749,000	47,749	-
単元未満株式	普通株式 201,000	-	-
発行済株式総数	48,000,000	-	-
総株主の議決権	-	47,749	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
北陸瓦斯株式会社	新潟市中央区東大通一丁目2番23号	50,000	-	50,000	0.10
計	-	50,000	-	50,000	0.10

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	5,713,709	5,445,178
供給設備	29,075,310	28,394,950
業務設備	1,167,365	1,187,236
その他の設備	927,849	1,445,707
建設仮勘定	548,736	1,515,485
有形固定資産合計	37,432,971	37,988,558
無形固定資産		
のれん	1,544,935	1,474,710
その他無形固定資産	542,593	628,469
無形固定資産合計	2,087,528	2,103,180
投資その他の資産		
投資有価証券	3,554,427	3,803,866
繰延税金資産	440,566	433,119
その他投資	1,108,066	1,228,331
貸倒引当金	13,405	13,189
投資その他の資産合計	5,089,654	5,452,128
固定資産合計	44,610,155	45,543,867
流動資産		
現金及び預金	4,275,724	4,604,514
受取手形及び売掛金	² 4,795,292	² 4,493,813
有価証券	2,780,089	180,360
繰延税金資産	345,063	350,362
その他流動資産	733,234	1,295,856
貸倒引当金	14,113	14,856
流動資産合計	12,915,291	10,910,050
繰延資産		
開発費	879,798	475,934
繰延資産合計	879,798	475,934
資産合計	58,405,244	56,929,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	4,237,290	3,449,321
繰延税金負債	367,553	411,092
退職給付引当金	405,464	130,093
役員退職慰労引当金	543,622	578,763
ガスホルダー修繕引当金	1,085,945	1,188,195
その他固定負債	273,082	234,474
固定負債合計	6,912,958	5,991,941
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	1,193,547	1,140,819
支払手形及び買掛金	3,219,086	3,410,038
短期借入金	-	117,000
未払法人税等	865,634	162,848
役員賞与引当金	17,609	-
その他流動負債	3,374,474	3,306,973
流動負債合計	8,670,351	8,137,680
負債合計	15,583,310	14,129,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,400,000	2,400,000
資本剰余金	21,043	21,043
利益剰余金	37,165,436	36,978,363
自己株式	15,081	15,478
株主資本合計	39,571,398	39,383,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	884,811	993,935
その他の包括利益累計額合計	884,811	993,935
少数株主持分	2,365,724	2,422,366
純資産合計	42,821,934	42,800,231
負債純資産合計	58,405,244	56,929,852

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	32,525,100	33,561,721
売上原価	20,692,545	21,881,612
売上総利益	11,832,554	11,680,108
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	9,391,286	9,206,878
一般管理費	2,269,796	2,161,908
供給販売費及び一般管理費合計	11,661,082	11,368,787
営業利益	171,471	311,321
営業外収益		
受取利息	9,577	9,949
受取配当金	41,626	44,625
受取賃貸料	60,401	60,241
その他	142,241	127,538
営業外収益合計	253,847	242,354
営業外費用		
支払利息	65,880	53,250
その他	20,852	5,263
営業外費用合計	86,733	58,513
経常利益	338,585	495,162
税金等調整前四半期純利益	338,585	495,162
法人税等	104,112	179,258
少数株主損益調整前四半期純利益	234,472	315,904
少数株主利益	61,727	71,419
四半期純利益	172,745	244,484

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	234,472	315,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,225	109,122
その他の包括利益合計	45,225	109,122
四半期包括利益	189,247	425,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,457	353,608
少数株主に係る四半期包括利益	61,789	71,418

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関東信越ガス事業協同組合の独立行政法人中小企業基盤整備機構からの高度化資金借入に対する連結子会社の債務保証の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
保証債務	124,947千円	119,067千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	77,218千円	35,885千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループの連結業績は、季節的変動の著しいガス事業の占めるウェイトが高いため、ガスの需要期である冬期を中心に春先にかけて売上高が多く計上されます。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	4,066,112千円	3,875,283千円
のれんの償却額	70,224	70,224
負ののれんの償却額	38,714	38,714

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	335,653	7.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	431,557	9.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	都市ガス				
売上高	29,162,439	5,997,411	35,159,850	2,634,750	32,525,100
セグメント利益又はセグ メント損失()	120,900	271,111	150,210	21,261	171,471

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保
全・設計・施工事業、住宅設備機器の販売・施工事業、土木・管工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額21,261千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	都市ガス				
売上高	30,327,563	5,988,987	36,316,550	2,754,829	33,561,721
セグメント利益又はセグ メント損失()	2,092	295,065	292,972	18,348	311,321

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保
全・設計・施工事業、住宅設備機器の販売・施工事業、土木・管工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額18,348千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	3円60銭	5円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	172,745	244,484
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	172,745	244,484
普通株式の期中平均株式数 (千株)	47,950	47,949

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

北陸瓦斯株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野本 直樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清水 栄一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北陸瓦斯株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北陸瓦斯株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。